



博物館の窓

学芸員 持田 誠

第116回

毎年4月になると、浦幌神社をはじめ、町内の各集落にある神社で春季祭礼が行われます。同時に、各地の馬頭観音(馬頭さん)のお祭り「馬頭祭」も行われています。馬頭さんは、もともとは馬の頭をした観音菩薩で、その姿から馬をはじめとする家畜を守護する仏様として、農村では大切にされてきました。

仏様なので、本来は神主さんではなく僧侶が祭事を執り行うのですが、川上地区では伝統的に、地区のみなさんだけで祭事が行われてきました。その祭事に参加させていただきました。こうした地域の祭礼は、地域ごとの特色があつて興味深く、今後は他の地区のようすも記録していきたいと考えています。

地域で守り伝える川上の馬頭祭



川上神社の境内に祀られている馬頭観音。祭礼のときには幟が立ち、碑にはしめ縄がまかれ、酒や野菜が供えられている。



祭事を担当する区長が馬頭さんに拝礼ののち、塩や米を参列者に向けて播いて歩く。その後、時計まわりで馬頭さんへ酒をかけ、参列者全員で献杯をする。最後に、音を立てないように手をたたき、拝礼する。祭事に僧侶や神官はおらず、地区の人たちだけで執り行われる。